

2 6月の見通し

野菜

多くの品目で産地の切り替わりが進む月となる。東北・北海道では寒さによる生育遅れが顕著だった昨年とは逆で、高温による生育の前進化がみられる。「ブロッコリー」は長野県・北海道ともに前進出荷の予想だが、前段産地も気温上昇に伴い前進傾向にあるためスムーズな交替となる見込み。

「とうもろこし」は各産地生育順調で中旬ごろから潤沢な出荷が見込まれる。「ばれいしょ類」は中旬まで長崎県産が多く、相場は下落傾向が続き、「たまねぎ」も上旬までは流通量が多くなり、以後は流通量の減少に伴い相場も上向くと考えられる。

6月の野菜全体の入荷量は平年並で、価格は前年をかなり下回り平年並となる見込み。

果実

重量順で「メロン類」「すいか類」「りんご類」が中心となる。「メロン類」は茨城県、千葉県など各地で生育順調で大玉傾向。「すいか類」は熊本県産が前進傾向で数量減につき、6月中旬にやや端境となる見込み。「りんご類」は量が少なく高値傾向なため荷動きは鈍いと予想される。

「おうとう」は2年連続で不作となった山形県が今年は生育順調で、今年は前年を大幅に上回る数量となる見込み。

6月の果実全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや上回る見込み。

品目	入荷量(t)		単価(円/kg)		備考 (主産地の生育状況等)
	前年比	平年比	前年比	平年比	
だいこん	⇒	↘↘	↘	↗↗	主産地は青森県、北海道。東北・北海道産は干ばつの影響で形状不良が散見されるが、気温が高いことから平年よりピークが早い見込み。中旬に青森県産が増加する見通し。予想入荷量は少なかった前年並で平年をかなり下回る見込み。
にんじん	↗↗	↘	↓↓↓	↑↑	主産地は千葉県で、他産地もおおむね順調な生育。抽苔が散見され、降雨によるしみ症の発生も懸念されるが、中旬ごろまでは安定した入荷量となる見込み。後続の北海道(新はこだて)は平年よりも10日程度早い出荷開始となりそう。予想入荷量は少なかった前年をかなり上回り、平年をやや下回る見込み。
キャベツ類	↗↗	⇒	↗↗	↘	主産地は千葉県、茨城県、群馬県。中旬までは千葉県産、茨城県産の残量があり、後続も群馬県産は霜害がほぼなく順調な入荷を見込むなど、各産地順調で中下旬に微増となる見込み。予想入荷量は少なかった前年をかなり上回り、平年並の見込み。
ねぎ	↗	⇒	⇒	⇒	主産地は茨城県、千葉県。上旬に初夏ねぎトンネル作のピークを迎え、下旬から夏ねぎ露地作の入荷が始まる。生育、入荷量ともにおおむね順調で、下旬から秋田県産の入荷も始まる見込み。予想入荷量は前年をやや上回り、平年並となる見込み。
きゅうり	⇒	↘↘	↘↘	↗↗	主産地は埼玉県、福島県。関東産地は中旬ごろから成り疲れにより漸減し、総体としても月後半は入荷減となる見込み。予想入荷量は梅雨入りの時期次第で数量は大きく変動しそうだが、各産地で作付け減と5月下旬の曇天から入荷量は少なかった前年並で、平年をかなり下回る見込み。
トマト	⇒	↘↘	⇒	↗↗	主産地は栃木県、北海道。上中旬は長段・無加温・夏秋等各作型が重なり潤沢な入荷となる見込みで、下旬は熊本県等終了する産地もあるため端境となることが見込まれる。北海道産は玉流れはL中心の大玉傾向で出荷ベースも順調。予想入荷量は少なかった前年並で平年をかなり下回る見込み。
大玉すいか	⇒	⇒	↗↗	↗↗	主産地は鳥取県、熊本県、千葉県。鳥取県産は前年比3~4日早い生育で、着果数も前年並に確保されており、玉肥大も3L中心と順調。熊本県産は前進傾向につき6月は数量減少の見込み。千葉県産はこれまでやや小玉傾向で推移したが、6月分は徐々に玉肥大していく見込み。予想入荷量は前年・平年並を見込む。
			増加	減少	

凡例			
⇒	平年並:±2%	↗↗, ↘↘	かなり高, かなり低:±6~15%
↗, ↘	やや高, やや低:±3~5%	↑↑, ↓↓	大幅高, 大幅低:±16%以上